

令和4年度

関市行政改革推進審議会

会議録

-概要版-

(令和5年2月7日)

関市行政改革推進審議会

1 会議名 令和4年度関市行政改革推進審議会

2 日時 令和5年2月7日(火) 午前10時00分～11時00分

3 場所 関市役所6階 6-2会議室

4 出席委員 11名 (敬称略)

名	区 分	
石竹 智範	1号委員	関金融協会
北村 房子	1号委員	関市地域女性の会連合会
佐伯 義夫	1号委員	連合岐阜中濃地域協議会
○櫻井 寛和	1号委員	自治会連合会
鈴木 良春	1号委員	岐阜県関刃物産業連合会
多田 幸泰	1号委員	関青年会議所
長屋 邦良	1号委員	関市西商工会
市原 輝明	2号委員	学識経験者
◎藪下 武司	2号委員	学識経験者
加藤 知子	4号委員	一般公募
野田 哲貴	4号委員	一般公募

◎：会長、○：副会長

5 欠席委員 2名 (敬称略)

各務 剛児	1号委員	関商工会議所
林 加奈	4号委員	一般公募

6 事務局
市長公室長ほか2名

7 傍聴者 なし

8 議事日程 次第のとおり

令和4年度 関市行政改革推進審議会

日 時 令和5年2月7日(火)
10時00分～11時00分
場 所 関市役所6階6-2会議室

(次 第)

1 開 会

2 議 事

せき行財政改革アクションプランⅢ 進捗報告

①抜粋した取組(下記)への意見・質問 【資料1】【資料2】

- NO. 7 選挙における期日前投票所の拡充や共通投票所及び移動投票所の導入
- NO. 9 消防団組織(団員数及び車両等)の見直し
- NO. 17 広告収入の拡充
- NO. 18 ふるさと納税を活用した返礼品づくり
- NO. 22 公共施設再配置計画の維持、遊休財産の売却及び貸付
- NO. 24 公用車へのEV車の導入
- NO. 28 電子申請の導入
- NO. 29 市民への情報発信の充実
- NO. 30 マイナンバーカードの普及
- NO. 31 「書かない窓口づくり」の推進

②上記以外の取組への意見・質問 【資料1】

3 閉会

(配付資料)

◎せき行財政改革アクションプランⅢ R4 進捗報告書

(午前10時00分 開会)

○開会挨拶（事務局）

○議事①

- ・行財政改革アクションプランⅢの進捗状況について、令和4年度進捗報告書にて事務局より説明。
- ・説明した取組
 - NO.7 選挙における期日前投票所の拡充や共通投票所及び移動投票所の導入
 - NO.9 消防団組織（団員数及び車両等）の見直し
 - NO.17 広告収入の拡充
 - NO.18 ふるさと納税を活用した返礼品づくり
 - NO.22 公共施設再配置計画の維持、遊休財産の売却及び貸付
 - NO.24 公用車へのEV車の導入
 - NO.28 電子申請の導入
 - NO.29 市民への情報発信の充実
 - NO.30 マイナンバーカードの普及
 - NO.31 「書かない窓口づくり」の推進

【主な意見】

<改革項目9 消防団組織の見直し>

委員：見直しの結果消防団員が少なくなるとのことだが、消火活動に対する効果は、消防団員が減っても担保されるのか。

事務局：火災が発生した地区の担当分団だけでは初動体制をとることが難しいという実情を受け、市内を5つのグループに分けて、グループの中で消火の初動体制をとっていくことを計画している。

<改革項目24 公用車へのEV車導入>

委員：公用車への導入が進んでいるとのことだが、今後EV車を導入する以外の次のステップは何か考えているか。

事務局：ゼロカーボンシティ宣言を行った市として、すべての公用車をEV車にできれば良いが、費用面や災害対応等考えるとすべてEV車に変えることは難しい。公用車へのEV車の導入以外では、シティバスへのEVバス導入を研究しているところ。

委員：EV車が即脱炭素に繋がるかは別として、市役所はEV車を持っているため、実際の運用でどのような成果が出ているか、例えば、何キロ走るのか、充電はどれくらい持つか、どれくらい稼働した際に充電がどれくらい必要なのかといったことを、市民の方に情報公開すると、EV車の購入の判断材料になると思う。

<改革項目28 電子申請の導入>

委員：日中仕事で市役所に来られない方がインターネットで手続きできると大変便利である。

それに加え、住民税の口座変更や、新たに口座引落にしたい方の申請がインターネットでできるとさらに便利になるため、そのような仕組みづくりも進めてもらいたい。

<改革項目 30 マイナンバーカードの普及>

委員：初めてコンビニで印鑑証明をとったが、実際に使ってみると土日・夜間、市役所が開いていなくても証明を取ることができて大変便利であった。

せき pay も、これまで1,000円単位でしか使えなかったチケットが1円単位で使え、わざわざ持ち歩く必要もないため便利だったが、高齢者の方等デジタル技術を使えない方の対応も何か考えてもらえると良い。

委員：現在の取得率が53.8%で、さらに取得を促していきたいと考えているとのことだが、年代別の取得率は出ているか。それによって対策も変わるのではないか。

事務局：年代別の取得率の数値は無いが、どの年代が取得の意向を示さないのかというところは分析したいと考えている。

当市の今年度当初の取得率が37%と非常に低いところから始まり、まずは取得率の底上げということで現在全国平均に近い取得率まで引き上げた。今後、各年代の取得率でどこが課題であるのか洗い出したいと考えている。

委員：令和5年度の目標が取得率50%、令和4年度の実績が53.8%ということで目標値を超えているが、今後目標についてどう考えていくのか。

また、マイナンバーカードの趣旨というのは、カードの取得率に問題があるのではなく、この後に想定されるマイナポータルの活用に非常に大きく影響してくる。利益を享受できない方があるので、そこに対するアクションプランの今後を考えていく必要があるかと思う。

事務局：目標値について、マイナンバーカードの取得率は100%を求められており、自治体としてもそこを目指して取り組んでいるため、令和5年度の目標値50%とあるのは、担当課と相談のうえ上方修正していきたい。

マイナンバーカード取得のメリットが感じられない方が多く、ポイントがもらえたとしても作らないという方もある。カード取得のメリットの周知がもっと必要と考えている。

マイナンバーカードを使って証明書等を取得することができるキオスク端末の導入を行い、マイナンバーカードを使うと便利だということを実感いただきたいと思っている。

委員：キオスク端末の設置は本庁市民課のみか。地域事務所にも設置してもらえると利便性が向上するのではないか。

事務局：キオスク端末の設置について現在は本庁のみの設置予定となっている。

○議事②

・議事①で説明の無かった取組み意見・質疑応答

【主な意見】

<改革項目 14 水道事業経営戦略の見直し>

委員：水道管が経年劣化で30%も漏水しているということだが、それに対する対策はとっているのか、今後どう考えていくのか。我々の税金が大変な額捨てられているということが起きており、これについて詳細に教えてもらいたい。

事務局：水道事業について、有収率の向上に対しては2通りの手法があり、一つは漏水している箇所を調査し、漏水箇所を一時的に塞ぐ方法。その予算を増やしてきていることで有収率も向上してきている。しかしながら、全体的に水道管が老朽化していることから、どこかを塞ぐと別の箇所から漏水するといった事態が発生している状況もあり、根本的な解決には水道管の布設替えをする必要があるが、水道管の延長も非常に長く、今後順次行っていく予定である。

<改革項目 17 広告収入の拡充>

委員：ネーミングライツについて、商工業者等の中には宣伝になるということで参加したいと考えている方もいると思うが、どの施設が参加できるのか各種団体含め案内いただけると良い。指定管理者があると名前を入れるのは難しいと思うが、どの施設が指定管理なのか分かると良い。

事務局：ネーミングライツが可能な施設については現在情報を集めているところ。

イベントもネーミングライツの導入が可能になっているが、現在はコロナ禍明けでようやくイベントができるようになったところであり、今後順調に開催できるようになれば、ネーミングライツ導入ができないか検討していきたい。

<改革項目 23 学校施設の長寿命化及び学校再編の推進>

委員：学校の老朽化が激しく20年後には一斉に改築時期を迎え多額の費用がかかるとある。関市の人口は減っており、財源の見通しが立たないと大変不安である。財源には目途がついているのか。

事務局：学校長寿命化には有利な補助金と市債の制度があるが、それを活用しても今後10年間で約82億円が必要との試算がある。昨年9月の議会で、学校施設整備基金を創設し50億円を積んでいる。残り約30億円が不足しているが、ふるさと納税が好調につき余剰財源が生まれたときに順次費用を確保していく予定としている。

<改革項目 26 AI (RPA) を活用した業務効率化>

委員：プログラミングができる職員がおらず育成や教育が必要とのことであるが、かなり遅れているのではないか。プログラミング教育は、アウトソーシングしているのか、費用がいくらかかっているのか、今後の育成や教育に対する費用はいくら考えているのか教えてほしい。

事務局：今年度4月よりデジタル推進室という、庁内のデジタル化を推進する組織を立ち上げ、実施している。デジタル推進室にはプログラミングができる職員が配置されているものの、それ以外の部署にそのような職員がおらず、現状育成・教育ができていないことが課題。

○その他全体

委員：様々なことが電子化され、高齢者もデジタルに挑戦はしてみるものの、途中でつまずき、最後は家族に頼むということもある。高齢者の数も多く、家族のいらっしゃらない方もいるので、そのような方を重点的に支援してもらいたい。

事務局：昨年11月にせき pay（プレミアム付電子商品券事業）を実証実験として小規模で行った。事業が始まる際に、地域の老人会と連携し説明会を開催した。また、今までメールと電話しか使わなかったが、これをきっかけにスマートフォンを使いこなせるようになりたいということで市窓口が高齢者の方が大勢来られ、一定程度デジタル化の促しにはなったかと思う。しかしながら、そもそもスマートフォンを持っていない方もいるため、今後そのような方への配慮も必要と考えている。

委員：EV車の導入やマイナンバーカードの普及、デジタル化といった取組は国が進めていることもあり、プラスの方向に進むだろうという様相はあった。本日委員から意見のあった水道事業や学校関係の話など、関の地域に昔からある、解決しなければならない問題や先送りになってきた問題にこそ注力が必要。

委員：委員の意見が出ても、それぞれの担当課でどれだけ助言等を取り入れているかが見えない。担当課がどれだけ真剣に取り組んでいるのかが不安になった。同じ改革項目でも、昨年末の審議会での進捗報告と今回の進捗報告で取組内容が違っているものがある。昨年ほうまくいっているとされていた取組が、今回それをやめているなど、取組に相違がある。データについても、昨年行ったアンケートや調査をまだ集計中というものがあり、すぐに集計できるのではないか。うまく進んでいない取組を解決していかないと、関市のためにはなっていない。

○閉会の挨拶（市長公室長）

（午前11時17分 閉会）